



TITLE:

## II.研究所の概要

AUTHOR(S):

---

CITATION:

II.研究所の概要. 霊長類研究所年報 2016, 45: 2-28

ISSUE DATE:

2016-01-20

URL:

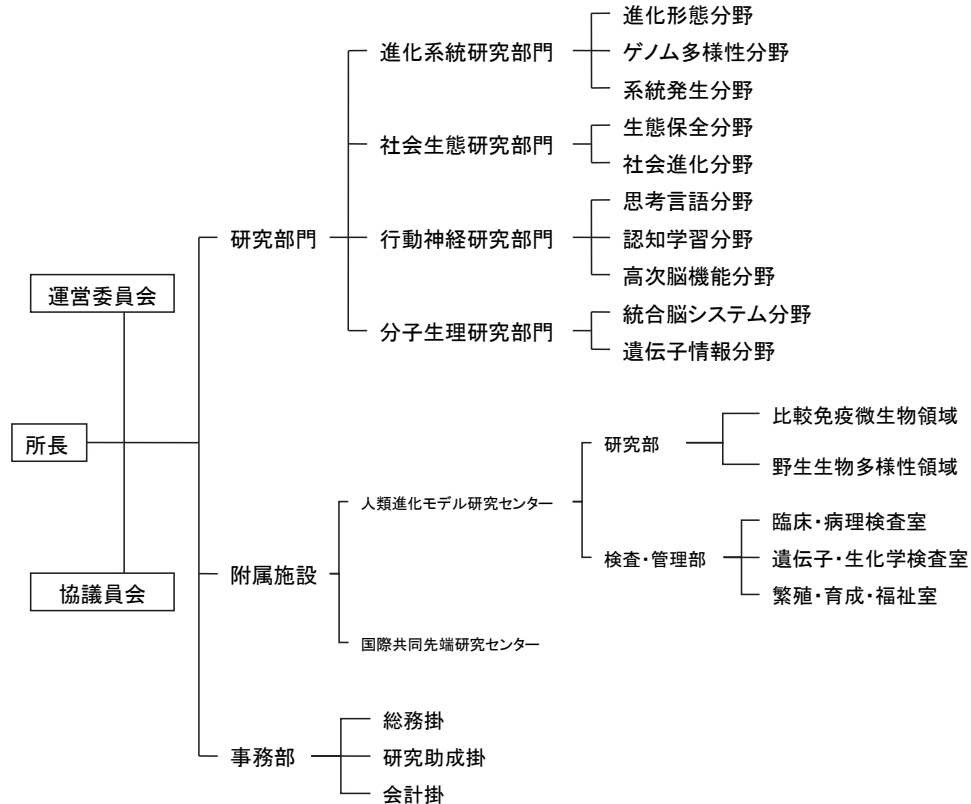
<http://hdl.handle.net/2433/226062>

RIGHT:

## Ⅱ. 研究所の概要

### 1. 組織

#### (1) 組織の概要(2015年3月31日現在)



所長	平井啓久	
運営委員	阿形清和	(京都大学大学院理学研究科 教授)
(順不同)	中川尚史	(京都大学大学院理学研究科 准教授)
	中務真人	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	藤田和生	(京都大学大学院文学研究科 教授)
	諏訪元	(東京大学総合研究博物館 教授)
	伊佐正	(生理学研究所 教授)
	河村正二	(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)
	高畑由起夫	(関西学院大学総合政策学部 教授)
	長谷川壽一	(東京大学大学院総合文化研究科 教授)
	中道正之	(大阪大学大学院人間科学研究科 教授)
	泰羅雅登	(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授)
	高田昌彦	(京都大学霊長類研究所 教授)
	古市剛史	(京都大学霊長類研究所 教授)
事務長	俣野正	

#### 職員の内訳

教授	准教授	助教	特定研究員	事務職員	技術職員	小計	非常勤(時間)	合計
13	11	16	5	7	8	60	114	174

#### 大学院生・研究者等の内訳

博士課程	修士課程	特別研究学生	外国人共同研究者	特別研究員(PD)	合計
27	16	2	0	3	48

(2) 所員一覧(2015 年 3 月 31 日現在)  
進化形態分野 Fax:0568-61-5775

濱田 穰	教授
平崎 鋭矢	准教授
毛利 俊雄	助教
水谷 典子	事務補佐員
POMCHOTE, Porrawee	大学院生
NGUYEN, Van Minh	大学院生
若森 参	大学院生
BINTI MOHD DAUT, Norlinda	大学院生

ゲノム多様性分野 Fax:0568-62-9554

古賀 章彦	教授
川本 芳	准教授
田中 洋之	助教
榎元 裕紀	技術補佐員
牧野瀬 恵美子	技術補佐員
川本 咲江	技能補佐員

系統発生分野 Fax:0568-63-0536

高井 正成	教授
西村 剛	准教授
江木 直子	助教
國枝 匠	技術補佐員
服部 美里	技術補佐員
浅原 正和	教務補佐員
伊藤 亮	教務補佐員

生態保全分野 Fax:0568-63-0564

湯本 貴和	教授
半谷 吾郎	准教授
橋本 千絵	助教
大井 由里	技術補佐員
大谷 洋介	教務補佐員
郷 もえ	教務補佐員
野本 昌代	教務補佐員
松尾 ほだか	教務補佐員
今井 伸夫	研究員
佐藤 宏樹	学振特別研究員
寺田 佐恵子	大学院生
栗原 洋介	大学院生
宮田 晃江	大学院生
有賀 菜津美	大学院生

社会進化分野 Fax:0568-63-0565

古市 剛史	教授
Huffman, Michael Alan	准教授
辻 大和	助教
広瀬 しのぶ	事務補佐員

柳井 由香	技術補佐員
竹元 博幸	研究員
GARAI, Cintia Judit	大学院生
徳山 奈帆子	大学院生
柳 興鎮	大学院生
RIGAILL, Lucie Marie Louise	大学院生
CICALISE TAKESHITA, Rafaela Sayuri	大学院生
豊田 有	大学院生
戸田 和弥	大学院生
ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel	大学院生

思考言語分野 Fax:0568-62-2428

松沢 哲郎	教授
友永 雅己	准教授
林 美里	助教
打越 万喜子	特定研究員
綿貫 宏史朗	特定研究員
奥村 由香利	事務補佐員
大藪 陽子	技術補佐員
平栗 明実	技能補佐員
市野 悦子	教務補佐員
熊崎 清則	教務補佐員
酒井 道子	教務補佐員
高島 友子	教務補佐員
落合 知美	研究員
金森 朝子	研究員
GONSETH, Chloe Marie	研究員
平田 加奈子	研究員
川上 文人	学振特別研究員
KIM, Yena	大学院生
村松 明穂	大学院生
兪 リラ	大学院生
櫻庭 陽子	大学院生
DA SILVA MENDONCA, Renata Andreia	大学院生
黒澤 圭貴	大学院生
BEZERRA DE MELO DALY, Gabriela	特別研究学生

認知学習分野 Fax:0568-62-9552

正高 信男	教授
後藤 幸織	准教授
香田 啓貴	助教
新谷 さとみ	技術補佐員
石田 恵子	技術補佐員
道見 里美	技術補佐員
石井 波路	技能補佐員
伊藤 亮	教務補佐員

加藤 朱美	教務補佐員
柴崎 全弘	教務補佐員
BOUCHET, Helene	学振外国人特別研究員
磯村 朋子	大学院生
佐藤 杏奈	大学院生
渥美 剛史	大学院生
BERNSTEIN, Sofia Kaliopé	大学院生
大野 邦久	大学院生
山口 佳恵	大学院生
佐藤 まどか	大学院生
入角 晃太郎	大学院生
藤村 留美	大学院生

高次脳機能分野 Fax:0568-63-0563

中村 克樹	教授
宮地 重弘	准教授
脇田 真清	助教
鈴木 比呂美	技術補佐員
鈴木 冬華	技術補佐員
禰占 雅史	技術補佐員
藤田 恵子	技術補佐員
竹本 篤史	研究員
三輪 美樹	研究員
鴻池 菜保	学振特別研究員
金 侑璃	大学院生
酒多 穂波	大学院生
堀田 英莉	大学院生

統合脳システム分野 Fax:0568-63-0416

高田 昌彦	教授
大石 高生	准教授
井上 謙一	助教
中川 浩	特定研究員
梅村 真理子	事務補佐員
後藤 有紀	事務補佐員
木村 和宏	技術補佐員
郷 眞由美	技術補佐員
長屋 七奈	技術補佐員
長屋 清美	技能補佐員
岩崎 貴与	教務補佐員
藤原 真紀	研究員
小笠原 宇弥	大学院生
菅原 直也	大学院生
安河内 竜二	大学院生
川合 隆嗣	特別研究学生

遺伝子情報分野 Fax:0568-62-9557

平井 啓久	教授
今井 啓雄	准教授

今村 公紀	助教
安武 香織	事務補佐員
筒井 圭	研究員
橋戸 南美	大学院生
早川 卓志	大学院生
伊藤 聡美	大学院生
北島 龍之介	大学院生
西 栄美子	大学院生

人類進化モデル研究センター Fax:0568-62-9559

中村 克樹	教授(併)
明里 宏文	教授
岡本 宗裕	教授
鈴木 樹理	准教授
宮部 貴子	助教
木下 こづえ	助教
芳田 剛	特定助教
東濃 篤徳	特定研究員
宮本 陽子	特定研究員
前田 典彦	技術専門職員
森本 真弓	技術専門職員
兼子 明久	技術職員
橋本 直子	技術職員
愛洲 星太郎	技術職員
石上 暁代	技術職員
山中 淳史	技術職員
夏目 尊好	技術職員
阿部 恵	事務補佐員
奥村 朋子	事務補佐員
田村 夏海	技術補佐員
藤森 唯	技術補佐員
吉田 由美子	技術補佐員
荒川 龍児	技能補佐員
石原 由貴	技能補佐員
和泉 津佳沙	技能補佐員
岩田 和子	技能補佐員
江口 聖子	技能補佐員
荻野 奈美	技能補佐員
尾鷲 享子	技能補佐員
勝谷 えり子	技能補佐員
倉知 美沙	技能補佐員
後藤 久美子	技能補佐員
高木 朋子	技能補佐員
高瀬 こがみ	技能補佐員
津川 則子	技能補佐員
常川 千穂	技能補佐員
長谷川 夕美子	技能補佐員
濱田 一郎	技能補佐員

武藤 久美	技能補佐員
横江 実穂子	技能補佐員
釜中 慶朗	教務補佐員
熊谷 かつ江	教務補佐員
猪飼 良子	研究支援推進員
大堀 美佳	研究支援推進員
ゴドジャリ 静	研究支援推進員
塩澤 裕子	研究支援推進員
葉栗 和枝	研究支援推進員
堀内 ゆかり	研究支援推進員
安江 美雪	研究支援推進員
印藤 頼子	研究員
濱井 美弥	研究員
鈴木 紗織	大学院生

#### 国際共同先端研究センター

松沢 哲郎	教授(併)
BERCOVITCH, Fred Bruce	教授
足立 幾磨	助教
宮部 真奈美	特定職員
阿部 政光	教務補佐員
SERES, Michael	研究員
西澤 和子	研究員
WATSON, Claire Fiona Esther	研究員
KELLY, Kristy Lee	研究生
FRIAS VILLARROEL, Liesbeth Martina	研究生

#### チンパンジー(林原)研究部門(H29.12.31 まで)

松沢 哲郎	教授(兼)
友永 雅己	准教授(兼)
林 美里	助教(兼)
藤澤 道子	寄附研究部門教員

#### ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)

##### 研究部門(H31.6.30 まで)

松沢 哲郎	教授(兼)
湯本 貴和	教授(兼)
友永 雅己	准教授(兼)
林 美里	助教(兼)

#### ヒト科 3 種比較研究プロジェクト

狩野 文浩	特定助教
-------	------

#### 長期野外研究プロジェクト

松田 一希	特定助教
坂巻 哲也	研究員
田代 靖子	研究員

#### 所長室

平井 啓久	所長
澤村 育栄	事務補佐員

#### 事務部 Fax:0568-63-0085

俣野 正	事務長
------	-----

#### 総務掛

中川 秀樹	掛長
新宅 優有	事務職員
澤田 彰子	事務補佐員
松澤 美津子	事務補佐員
宮下 真希	事務補佐員
山本 理恵	事務補佐員
早川 清治	教務補佐員
宿泊棟	
長房 美奈子	労務補佐員
馬場 ゆかり	労務補佐員

#### 研究助成掛

植田 忠紘	掛長(兼)
松野 友紀	事務職員
猪野 友紀子	事務補佐員
小野木 利枝	事務補佐員
菊永 いづみ	事務補佐員
図書室	
高井 一恵	事務職員
辻 智子	事務補佐員

#### 会計掛

植田 忠紘	掛長
助光 和宏	事務職員
亀井 美幸	事務補佐員
若原 梢	事務補佐員
多目的ホール	
小島 和代	労務補佐員
佐合 優子	労務補佐員
日比野 恵美子	労務補佐員
松本 公恵	労務補佐員

#### 情報検索室

福富 憲司	
-------	--

## (3) 大学院生

2014 年度 生物科学専攻(霊長類学・野生動物系)

氏名	学年	指導教員
磯村 朋子	D3	正高 信男 脇田 真清
大谷 洋介	D3	半谷 吾郎 川本 芳
KIM, Yena	D3	友永 雅己 M.A.Huffman
佐藤 杏奈	D3	正高 信男 西村 剛
寺田 佐恵子	D3	湯本 貴和 古市 剛史 田中 洋之
橋戸 南美	D3	今井 啓雄 古賀 章彦
早川 卓志	D3	今井 啓雄 友永 雅己
POMCHOTE Porrawee	D3	濱田 穰 平崎 鋭矢 川本 芳
村松 明穂	D3	松沢 哲郎 香田 啓貴
兪 リラ	D3	友永 雅己 毛利 俊雄
渥美 剛史	D2	正高 信男 脇田 真清
NGUYEN, Van Minh	D2	濱田 穰 川本 芳
櫻庭 陽子	D2	松沢 哲郎 鈴木 樹理 林 美里
GARAI, Cintia Judit	D2	古市 剛史 川本 芳
鈴木 紗織	D2	明里 宏文 岡本 宗裕 井上 謙一
徳山 奈帆子	D2	古市 剛史 今井 啓雄
韓 昭晶	D2	古市 剛史 古賀 章彦
DA SILVA MENDONCA, Renata Andreia	D2	松沢 哲郎 M.A.Huffman 林 美里
柳 興鎮	D2	古市 剛史 古賀 章彦 橋本 千絵
RIGAILL, Lucie Marie Louise	D2	古市 剛史 平崎 鋭矢
大野 邦久	D1	正高 信男 脇田 真清

金 侑璃	D1	中村 克樹 江木 直子
栗原 洋介	D1	半谷 吾郎 友永 雅己
酒多 穂波	D1	中村 克樹 今井 啓雄
BERNSTEIN, Sofia Kaliope	D1	正高 信男 平崎 鋭矢
堀田 英莉	D1	中村 克樹 大石 高生
CICALISE TAKESHITA, Rafaela Sayuri	D1	M.A.Huffman 足立 幾磨
若森 参	D1	濱田 穰 川本 芳
伊藤 聡美	M2	今井 啓雄 西村 剛
小笠原 宇弥	M2	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
北島 龍之介	M2	平井 啓久 大石 高生
菅原 直也	M2	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
豊田 有	M2	古市 剛史 橋本 千絵 香田 啓貴
西 栄美子	M2	今井 啓雄 高田 昌彦
宮田 晃江	M2	半谷 吾郎 江木 直子
安河内 竜二	M2	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
山口 佳恵	M2	正高 信男 脇田 真清
有賀 菜津美	M1	湯本 貴和 今井 啓雄 橋本 千絵
入角 晃太郎	M1	後藤 幸織 友永 雅己
黒澤 圭貴	M1	友永 雅己 大石 高生
佐藤 まどか	M1	正高 信男 脇田 真清
戸田 和弥	M1	古市 剛史 川本 芳
藤村 留美	M1	正高 信男 脇田 真清

(4) 研究支援推進員

氏名	採用期間
猪飼 良子	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
大堀 美佳	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
ゴドジャリ 静	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
塩澤 裕子	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
葉栗 和枝	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
堀内 ゆかり	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
安江 美雪	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
高島 友子	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
伯川 美穂	2014 年 7 月 1 日～2014 年 12 月 31 日
加藤 朱美	2014 年 4 月 1 日～2014 年 9 月 30 日

## 2. 予算概況

### 予算概要

(金額の単位はすべて千円)

運営費交付金	人件費	450,597
	物件費	221,766
	物件費(特別経費)	146,619
	施設・設備整備費補助金	113,953
	計	932,935
外 部 資 金	受託研究費(9 件)	254,936
	受託事業費(3 件)	24,800
	共同研究費(4 件)	6,730
	文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等(93 件)	271,962
	厚生労働省科学研究費補助金(1 件)	11,000
	ナショナル・バイオリソース・プロジェクト(2 件)	116,403
	戦略的国際研究交流推進事業費補助金(1 件)	25,037
	国立大学改革強化推進補助金(1 件)	72
	研究大学強化促進事業【SPIRITS】(3 件)	6,556
	寄附金(11 件)	53,684
	間接経費、一般管理費等	77,360
	全学経費	5,873
	計	854,413
合 計		1,787,348

### (1) 2014 年度(平成 26 年度)受託研究費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
受託研究費	高田昌彦	14,000,000	戦略的創造研究推進事業チーム型研究(CREST) (サルモデルによる皮質脊髄路の可塑性制御機構の検討)
受託研究費	高田昌彦	7,300,000	戦略的創造研究推進事業チーム型研究(CREST) (大脳－小脳－基底核ネットワークの構造基盤の解明)
受託研究費	湯本貴和	6,210,001	東大からの再委託(課題番号：S－9) 東南アジア熱帯林における生物多様性損失の比較シナリオ分析
受託研究費	中村克樹	385,000	読書及び学習の過程における幼児・児童の視線変化についての調査研究
受託研究費	金森朝子	2,456,000	マレーシア・ダナムバレー森林保護区におけるツル性植物マメコスパ トロプス属の特性とオランウータンに与える影響
受託研究費	井上謙一	1,200,000	BS251004 霊長類認知ゲノミクスを推進する遺伝子ターゲティング手法の開発
受託研究費	明里宏文	27,205,000	HIV 感染症の根治に向けた基盤的研究 (H26－委託(エイズ)－一般－002)
受託研究費	佐藤弥	3,872,000	異分野融合共同研究 世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証「医学・栄養学と の連携による日本食の評価」
受託研究費	中村克樹	192,307,693	理研からの再委託「革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明」 (マーモセットの高次脳機能マップの作成とその基盤となる神経回路 の解明及び参画研究者に対する支援)
合 計	9 件	254,935,694	

※金額は、間接経費を除く

### (2) 2014 年度(平成 26 年度)受託事業費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
受託事業費	古市剛史	7,600,000	チンパンジー属類人猿の孤立個体群の保全に関する研究



受託事業費	松沢哲郎	16,000,000	心の起源を探る比較認知科学研究の国際連携拠点形成
受託事業費	岡本宗裕	1,200,000	ID No.DGHE-11212 論博研究者：SWASTIKA, Kadek
合 計	3 件	24,800,000	

※金額は、委託手数料等を除く

### (3) 2014 年度(平成 26 年度)共同研究費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
共同研究費	中村克樹	2,000,000	霊長類を対象とした動作理解の比較研究
共同研究費	中村克樹	2,730,000	マーモセットの認知機能に関する行動薬理学的解析
共同研究費	中村克樹		マーモセットの社会認知機能評価系(期間延長のみ)
共同研究費	後藤幸織	2,000,000	新規動物モデルを用いての ADHD 治療薬開発に向けた研究
合 計	4 件	6,730,000	

※金額は、産官学連携推進費を除く

### (4) 2014 年度(平成 26 年度)文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
新学術領域研究	高田昌彦	3,200,000	運動障害と認知障害を分離するパーキンソン病のサーキットパズロジー
新学術領域研究	今井啓雄	3,000,000	ターゲット遺伝子法によるグリアネットモデルサルの同定と繁殖の試み
新学術領域研究	友永雅己	3,400,000	未来を予測するところの進化：チンパンジー集団を対象としたトークン使用の社会実験
研究分担 (新学術領域研究)	高田昌彦	3,500,000	包括型脳科学研究推進支援ネットワーク
研究分担 (新学術領域研究)	中村克樹	1,800,000	包括型脳科学研究推進支援ネットワーク
研究分担 (新学術領域研究)	足立幾磨	500,000	周産期からの身体感覚と社会的認知の発達の関連性の解明に基づく障害理解
研究分担 (新学術領域研究)	古賀章彦	2,100,000	染色体維持におけるヘテロクロマチンの機能
特別推進研究	松沢哲郎	72,000,000	知識と技術の世代間伝播の霊長類的基盤
特別推進研究 (H25⇒26 繰越分)	松沢哲郎	1,500,000	知識と技術の世代間伝播の霊長類的基盤
基盤研究(S)	友永雅己	31,000,000	海のこころ、森のこころ—鯨類と霊長類の知性に関する比較認知科学—
基盤研究(A)	中村克樹	5,700,000	情動行動制御における扁桃核—前帯状回ループの役割の解明
基盤研究(A)	平井啓久	7,800,000	アジア霊長類と病原体の宿主寄生体関係史の探索
基盤研究(A)	高田昌彦	11,000,000	ウイルスベクターシステムを駆使した線条体入力系の構造—機能連関の解明
基盤研究(A)	湯本貴和	9,900,000	大型類人猿を含む霊長類群集と森林構造の比較研究
基盤研究(A)	古市剛史	8,400,000	ヒト科の集団と地域社会の役割の再考：Pan 属の集団間関係とメスの移籍の分析から
研究分担(基盤 A)	川本芳	700,000	熱帯高地環境における家畜化・牧畜成立過程に関する学際的研究—アンデスを中心に
研究分担(基盤 A)	川本芳	500,000	熱帯高地における環境開発の地域間比較研究—「高地文明」の発見に向けて
研究分担(基盤 A)	高井正成	400,000	辺縁の人類史：アジア島嶼域におけるユニークな人類進化をさぐる
研究分担(基盤 A)	古賀章彦	1,000,000	霊長類ゲノムをモデルとした塩基配列進化の総合的研究
研究分担(基盤 A)	橋本千絵	600,000	遺伝・形態学的手法を利用したアフリカ産オナガザル科霊長類の採食戦略の解明
研究分担(基盤 A)	今井啓雄	1,650,000	遺伝・形態学的手法を利用したアフリカ産オナガザル科霊長類の採食戦略の解明

研究分担(基盤 A)	田代靖子	1,600,000	遺伝・形態学的手法を利用したアフリカ産オナガザル科霊長類の採食戦略の解明
研究分担(基盤 A)	松田一希	750,000	遺伝・形態学的手法を利用したアフリカ産オナガザル科霊長類の採食戦略の解明
研究分担(基盤 A)	足立幾磨	1,000,000	チンパンジーとボノボの道具的知性と社会的知性
研究分担(基盤 A)	湯本貴和	1,000,000	アフリカ類人猿のコミュニティの構造と進化
研究分担(基盤 A)	岡本宗裕	1,000,000	世界におけるエキノコックス、テニア条虫の種分化、分子共進化に関する総括研究
基盤研究(B)	岡本宗裕	4,100,000	レトロウイルス関連ニホンザル血小板減少症の発症機序と感染持続メカニズムの解明
基盤研究(B)	今井啓雄	2,800,000	霊長類化学感覚の分子・細胞メカニズム
基盤研究(B)	古賀章彦	3,000,000	ヒト上科で種特異的に生じている反復配列増減の比較ゲノム実験に基づく定量的な解析
基盤研究(B)	今井啓雄	3,600,000	ゲノムと微量成分に注目した霊長類採食活動の再考
基盤研究(B)	岡本宗裕	3,800,000	食の安全のためのアジア条虫と無鉤条虫の迅速診断法の開発と宿主特異性遺伝子の解析
基盤研究(B)	正高信男	3,800,000	注意欠陥/多動性障害における注意機能特性の比較認知科学的解明と診断の確立
基盤研究(B)	半谷吾郎	3,600,000	霊長類の食性と腸内細菌との共進化
基盤研究(B)	橋本千絵	2,900,000	生殖ホルモンの動態と性行動の分析による野生チンパンジーとボノボの繁殖戦略の研究
基盤研究(B)	高井正成	3,800,000	アジア地域の霊長類相の成立に関する古生物学的研究
研究分担(基盤 B)	香田啓貴	2,000,000	恐怖の生得性に関する生理・進化的基盤に関する実験的研究
研究分担(基盤 B)	湯本貴和	150,000	東南アジアにおける農林業と環境の両立にむけた生態系サービス支払いの制度設計
研究分担(基盤 B)	今井啓雄	1,100,000	スラウェシ島固有のマカク属を用いた霊長類の種形成に関する遺伝領域の特定
研究分担(基盤 B)	半谷吾郎	250,000	ニホンザルの社会構造の個体群間差異：その遺伝的背景を探索
研究分担(基盤 B)	川本芳	250,000	ニホンザルの社会構造の個体群間差異：その遺伝的背景を探索
研究分担(基盤 B)	湯本貴和	280,000	地域の生物文化多様性を基盤としたレジリエントな観光ガバナンスの研究
基盤研究(C)	井上謙一	1,100,000	ウイルスベクターを用いた入出力解析法による、中脳ドーパミン細胞の機能的差異の解析
基盤研究(C)	田中洋之	1,200,000	マカクザル繁殖集団における適応度関連分子マーカーの開発と野生集団への応用
基盤研究(C)	田代靖子	1,500,000	ロエストモンキーにおける単雄複雌群維持機構：行動の性差はあるか？
基盤研究(C)	宮地重弘	900,000	自動的および随意的運動リズム制御の神経メカニズムの解明
基盤研究(C)	佐藤英次	1,700,000	貴重な遺伝子資源であるニホンザルを保護するための基盤となる免疫学的研究
基盤研究(C)	M.A.Huffman	1,500,000	Phenotypic and genotypic disparity in Sri Lankan primates: Dissecting a species from its morphology, ecology, parasites and genes
挑戦的萌芽研究	中村克樹	1,300,000	サイトカイン暴露で誘導されるサルの行動異常の検討ーサル統合失調症モデル作出の試み
挑戦的萌芽研究	竹本篤史	700,000	不可視フリッカーに対する定常的視覚誘発電位を利用した非侵襲的 BCI
挑戦的萌芽研究	高田昌彦	1,500,000	霊長類脳において導入遺伝子発現をモニターするための生体イメージング法の開発
挑戦的萌芽研究	岡本宗裕	1,500,000	高次脳機能研究モデルとしての一卵性多子ニホンザルの作成
挑戦的萌芽研究	半谷吾郎	1,500,000	霊長類が真菌の多様性維持に果たす役割の解明
挑戦的萌芽研究	古賀章彦	1,300,000	染色体構成の急速な変化がみられる霊長類：反復配列の関与に関する仮説の検証
挑戦的萌芽研究	友永雅己	1,100,000	比較認知科学の視点に立った新しい福祉科学の構築ーヒト科3種の比較を通してー
挑戦的萌芽研究	脇田真清	2,300,000	チンパンジー乳児の音列知覚機構からみたヒトらしさの解明
挑戦的萌芽研究	三輪美樹	1,000,000	幼児虐待の連鎖-サルを対象とした不適切養育行動の世代間伝達の研究

挑戦的萌芽研究	後藤幸織	1,300,000	前頭前野幼形成熟とドーパミンとの関連
挑戦的萌芽研究	平崎鋭矢	1,900,000	無標点 3D 運動解析法の開発
挑戦的萌芽研究	西村剛	900,000	化石と現生霊長類の類縁関係を推定する数理形態学的手法の開発
研究分担 (挑戦萌芽)	明里宏文	750,000	再生医療技術を利用した新規 HIV-1 感染サルモデルの作成
研究分担 (挑戦萌芽)	古市剛史	100,000	ヒトを含む類人猿の性的二型とその多様性を制御する分子機構の 解明に向けて
若手研究(A)	西村剛	3,600,000	音声生成運動能力のサルモデルの創出と話しことばの霊長類的基 盤に関する総合的研究
若手研究(A)	松田一希	3,300,000	父系重層社会の解明：テングザル・雄グループの生活史
若手研究(B)	林美里	700,000	物の操作から見たヒトを含む霊長類の比較認知発達
若手研究(B)	香田啓貴	1,100,000	文化行動の生物学的起源：行動伝播の集団内実験による比較認知科 学的検討
若手研究(B)	足立幾磨	900,000	感覚間一致・音象徴の比較認知科学
若手研究(B)	MCCAIRN Kevin	1,100,000	霊長類モデルを用いたトゥーレット症候群に有効な脳深部刺激療 法の基礎的研究
若手研究(B)	今村公紀	1,600,000	マウス ES 細胞の分化誘導および体細胞からの直接誘導による i n v i t r o 卵胞形成
若手研究(B)	佐藤宏樹	700,000	マダガスカル産大型種子植物の結実戦略における動物種子散布の 有効性
若手研究(B)	伊藤亮	900,000	社会性のないトカゲによる、鳥類など他種の警戒声の「盗聴」行動 に関する認知発達研究
若手研究(B)	芳田剛	1,700,000	霊長類免疫不全ウイルスの宿主域拡大を規定する機能の獲得メカ ニズムの解明
研究活動スタート 支援	澤田玲子	1,000,000	定型発達者と広汎性発達障害者における表情検出の神経基盤の解 明
研究活動スタート 支援	筒井圭	600,000	苦味受容体の機能チューニングメカニズムの解明
研究活動スタート 支援	中川浩	1,100,000	サル脊髄損傷モデルにおける運動ニューロンの可塑的变化による 機能回復機序の解明
研究活動スタート 支援	狩野文浩	1,100,000	認知と感情の進化：行動と生理指標からせまるボノボとチンパン ジーの心の違い
特別研究員奨励費	磯村朋子	1,000,000	自閉症児の表情認知と情動処理の過程における特殊な視空間注意 の解明
特別研究員奨励費	早川卓志	900,000	苦味受容体の遺伝的多様性がチンパンジーの地域特異な採食行動 にもたらす影響の解明
特別研究員奨励費	ユ リラ	900,000	身体動作の同調行動に関する比較認知科学研究： ヒト、チンパン ジー、イルカを対象に
特別研究員奨励費	佐藤杏奈	900,000	養育行動の生物学的基盤 ～ニホンザルを用いての検討～
特別研究員奨励費	木下こづえ	423,031	近赤外分光法を用いた雌霊長類の新規発情モニタリング
特別研究員奨励費	川上文人	1,100,000	笑顔の起源：ヒト科を対象とした比較認知発達科学
特別研究員奨励費	徳山奈帆子	1,100,000	野生ボノボとチンパンジーにおけるパーティ構成の違いの要因の解明
特別研究員奨励費	キム イェナ	1,200,000	大型類人猿の向社会的行動におよぼす性・神経ホルモンの影響に関 する比較認知科学研究
特別研究員奨励費	櫻庭陽子	1,100,000	障がいを持つチンパンジーにおける認知実験のリハビリテーショ ンへの応用
特別研究員奨励費	鈴木紗織	900,000	新規 HCV/GBV-B キメラウイルスによる革新的 C 型肝炎霊長類 モデルの構築
特別研究員奨励費	寺田佐恵子	1,100,000	アフリカ熱帯林の時空間的な環境異質性がうみだす大型類人猿二 種の共存
特別研究員奨励費	村松明徳	1,100,000	チンパンジーにおける数の概念の学習
特別研究員奨励費	佐藤宏樹	1,200,000	マダガスカル産大型種子植物の繁殖成功における霊長類種子散布 の有効性
特別研究員奨励費	渥美剛史	1,200,000	アニマシー知覚に基づいた自閉症児童における社会認知特性の解 明と支援方法の構築

特別研究員奨励費	鴻池菜保	1,100,000	ヒトを含む霊長類におけるリズムの時系列情報および運動パターン情報の脳内表象
特別研究員奨励費	松沢哲郎 WATSON, C. F.	1,200,000	霊長類における任意慣習と意思疎通ジェスチャーの文化的伝達
特別研究員奨励費	半谷 吾郎 SHA, J. C.	500,000	ニホンザルの社会構造の変異：飼育群・餌付け群・野生群の比較
JSPS サマー・プログラム	松沢 哲郎 SCHLEGEL, Alexander A.	158,500	EAPSI: Use of metaphors by chimpanzees ( <i>Pan troglodytes</i> )
合 計	93 件	271,961,531	

※金額は、間接経費を除く

#### (5) 2014 年度(平成 26 年度)厚生労働省科学研究費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題
政策創薬・一般	明里宏文 (分担)	11,000,000	C 型肝炎ウイルスワクチン実用化を目指した基礎的研究
合 計	1 件	11,000,000	

※金額は、間接経費を除く

#### (6) 2014 年度(平成 26 年度)

#### 研究開発施設共用等促進費補助金《ナショナル・バイオリソース・プロジェクト》内訳一覧

研究種別	課題管理者	金 額	研 究 課 題
NBR(ニホンザル)	中村克樹	103,858,200	大型飼育施設でのニホンザルの繁殖・育成事業
GAIN(大型類人猿情報ネットワーク)	松沢哲郎	12,545,000	大型類人猿情報ネットワークの展開
合 計	2 件	116,403,200	

※直接経費のみ

#### (7) 2014 年度(平成 26 年度) 戦略的国際研究交流推進事業費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題 名
頭脳循環を加速する若手研究者 戦略的派遣プログラム	平井啓久	25,037,000	人間の多能性の霊長類の起源を探る戦略的国際 共同先端研究事業
合 計	1 件	25,037,000	

※金額は、事業管理経費を除く

#### (8) 2014 年度(平成 26 年度)国立大学改革強化推進補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金 額	研 究 課 題 名
国立大学改革強化 推進補助金	国際共同先端研究センター (BERCOVITCH, Fred Bruce)	72,000	国際高等教育院における英語力や教養力の強化並びに学部等のグローバル化の推進
合 計	1 件	72,000	

#### (9) 2014 年度(平成 26 年度)研究大学強化促進事業 学際・国際・人際融合事業「知の越境」 【SPIRITS】 内訳一覧

研究種別	主担当教員	金 額	研 究 課 題
研究大学強化促進費補助金	平井啓久	3,000,000	霊長類バイオリソースの国際共同利用研究拠点化に向けた学際チーム研究の推進「霊長類資試料共同利用研究国際ネットワーク拠点」
研究大学強化促進費補助金	後藤幸織	1,522,000	食と生薬による健康：国際共同研究による新薬開発を目指して～日刊研究チームの結成～
研究大学強化促進費補助金	古市剛史	2,004,000	日本・アフリカ学術研究ネットワークと革新的 DNA 分析手法を用いた類人猿保全研究
合 計	3 件	6,556,000	

※金額は、経費 A のみ記載。経費 B(本学自主経費)は除く。

### (10) 2014 年度(平成 26 年度)寄附金 内訳一覧

寄附金名称等	研究代表者	金 額	寄 附 の 目 的
寄附研究部門	松沢哲郎	38,800,000	ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)研究部門
トヨタ環境活動助成プログラム 2013 年度(2 年度継続の 2 年度目)	松沢哲郎	3,331,650	「緑の回廊」によってギニアの世界自然遺産ニンバ山を守る
Application for Conservation & Research Assistance from WRS	松田一希	2,097,750	Reassessment of The Population Status of Proboscis Monkeys ( <i>Nasalis larvatus</i> ) and The Effects of Fragmentation of Their Long-term Survival
公益財団法人藤原チャールズ・ヘンリー振興財団 第 22 回 学術研究助成	伊藤毅	300,000	化石記録からニホンザルの起源と渡来を探る古生物学的研究
公益財団法人 日本科学協会 平成 26 年度笹川科学研究助成 (学術)	伊藤亮	630,000	マダガスカル固有の哺乳類コモンテンレックが群れの動態や凝集性の制御に足音や超音波を利用している可能性の検証
京都大学教育研究振興財団 (国際会議開催助成)	平井啓久	1,000,000	第 4 回 アジア霊長類国際会議 ―アジアにおける霊長類の多様性と保全研究
第 18 回リバネス研究費 ライフテクノロジーズジャパン賞	今村公紀	300,000	iPS 細胞を利用した霊長類進化生物学
Mine 秋吉台ジオパーク構想研究 チャレンジ助成事業	西岡佑一郎	166,000	CT スキャンを利用した秋吉台周辺の洞窟から見つかっている小型哺乳類化石の分類学的再検討
公益財団法人 明治安田こころ の健康財団 2014 年度研究助成金	佐藤弥	500,000	自閉症スペクトラム障害における表情知覚の問題 ―定型発達者および扁桃体損傷患者との比較―
公益信託 成茂動物科学振興基金	浅原正和	300,000	適応的要因と発生学的要因からみる歯の進化的消失
Korea Brain Research Institute (KBRI)	高田昌彦	6,258,505	Decoding Global Networks in a Nonhuman Primate Model of Tourette Syndrome Using PET and Electrophysiological Methodologies(通称：TSA 研究助成)
合 計	11 件	53,683,905	

※寄附金額は、全学共通経費(2%)および部局中央管理費(3%)を控除した金額

## 3. 図書

霊長類学の研究成果を網羅する方針で図書を収集しています。特に霊長類学関連論文の別刷は 85,000 点に達し、『霊長類学別刷コレクション』として閲覧に供しています。書籍については全所員からの推薦を受け付け、選定の参考にしています。

### (1) 蔵書数

2015 年 3 月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下の通りです。

和書：9,039 冊(製本雑誌も含む)

洋書：18,218 冊(製本雑誌も含む)

和雑誌・中国雑誌：267 誌

洋雑誌：414 誌

紀要類：約 650 誌

霊長類学関連別刷(霊長類学別刷コレクション)：約 85,000 点

### (2) 資料の所蔵検索

図書室で所蔵している図書・雑誌はすべて【京都大学蔵書検索 KULINE】で検索できます。

【京都大学蔵書検索 KULINE】にアクセスし、[詳細検索画面] ― [所蔵館] の欄で [霊長研] を選択すると、霊長類研究所の蔵書のみヒットします。

詳しくは京都大学図書館機構のホームページをご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

霊長類学関連別刷(霊長類学別刷コレクション)は【霊長類学文献索引データベース】で検索できます。  
霊長類研究所ホームページの topics【霊長類学文献索引データベース】をご覧ください。

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/cgi-bin/library/books.cgi>

### (3) 霊長類研究所図書室利用規程

#### I. 開室時間と休室

1. 開室時間：平日 9 時から 17 時まで。
2. 休室：土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始。その他の臨時休室は、その都度掲示する。

#### II. 閲覧

##### 1. 閲覧者の資格

- 1) 本研究所の所員。
- 2) 本研究所の共同利用研究員。
- 3) 1)、2)以外の、京都大学に所属する者で、所属部局の図書施設もしくは附属図書館の紹介のある者。
- 4) その他一般利用者。

##### 2. 閲覧

- 1) 閲覧は所定の場所で行わなければならない。
- 2) 次の各号に掲げる場合には閲覧を制限することができる。
  - (1) 当該資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成 13 年法律第 140 号、以下「情報公開法」という。)第 5 条第 1 号、第 2 号及び第 4 号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分。
  - (2) 当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第 5 条第 2 号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合における当該期間が経過するまでの間。
  - (3) 当該資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は当該資料が現に使用されている場合。

#### III. 貸出及び返却

1. II の 1 の 1)の該当者及び、2)のうち予め利用者カードを提出した者は、下記に従い図書を借用できる。  
すべての借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。
  - 1) 借用資料の種類と借用方法
    - a. 単行本
      - (i) 単行本は 1 か月間借用できる。
      - (ii) 借用時には、ブックカード及び代本板用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本板用紙は代本板の背に挿入して、書架上の本のあった位置に置く。
    - b. 製本雑誌
      - (i) 製本雑誌は 3 日間借用できる。
      - (ii) 借用方法は単行本に準じる。
    - c. 未製本雑誌
      - (i) 未製本の雑誌は 15 時から翌朝 10 時までの間に限り借用できる。
      - (ii) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。
    - d. 別刷
      - (i) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。
      - (ii) 利用後は、返却台の箱に返却する。
    - e. 他機関からの借用資料
      - (i) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。
      - (ii) 利用後は図書係員に返却する。
  - 2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。
  - 3) 借用中の資料を転貸してはならない。
  - 4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。

ただし、他に借用希望者がある時は、他を優先する。

5) 借用後の図書は返却台に返却する。

2. II の 1 の 3) の該当者は、所属部局の図書施設もしくは附属図書館を通じて借用を依頼することができる。

1) 借用資料は単行本のみで、所属部局図書施設内もしくは附属図書館内での利用に限る。

2) 借用期限は 2 週間とするが、本研究所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速やかに返却することとする。

#### IV. 総点検及び長期貸出

1. 定期的に図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。

2. 総点検期間中、図書室を休室とすることがある。

3. 図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は 1 年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

#### V. 個人情報漏えい防止のために必要な措置

1. 図書室は、図書室資料に個人情報(生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む)をいう)が記録されている場合には、当該個人情報の漏えいの防止のために次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

1) 書庫の施錠その他の物理的な接触の制限

2) 図書室資料に記録されている個人情報に対する不正アクセス(不正アクセス行為の禁止等に関する法律(平成 11 年法律第 128 号)第 3 条第 2 項に規定する不正アクセスをいう)を防止するために必要な措置

3) 図書室の職員に対する教育・研修の実施

4) その他当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置

#### VI. その他

1. 図書室資料の目録及びこの図書室利用規程については常時図書室に備え付ける。

2. 資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。

3. 借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。

4. 図書室内(書庫を含む)は禁煙とする。

附則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

#### 4. サル類飼育頭数・動態

2014 年度(平成 26 年度)末 飼育頭数

種 名	
コモンマーモセット	155
ワタボウシタマリン	11
ヨザル	13
フサオマキザル	9
ケナガクモザル	1
ニホンザル	350
ニホンザル(NBR)*	420
アカゲザル	233
タイワンザル	2
ボンネットザル	1
カニクイザル	11
マントヒヒ	3
アジルテナガザル	3
チンパンジー	13
合 計	1225

\* NBR(「ニホンザル」バイオリソース)プロジェクトで飼育しているもの

2014 年度(平成 26 年度)サル類動態表

区 分  種 名	増 加			減 少(死亡など)											増 減
	出 産	導 入	小 計	実験殺	事故死	外傷死	呼吸器系疾患	消化器系疾患	感染症	泌尿器	衰弱	その他 剖検不能	所外供給	小 計	
コモンマーモセット	26	8	34	15		2	1				3	7		28	6
ニホンザル	48		48	13			3	3		1	3	7	1	31	17
ニホンザル(NBR)	63		63	2	1		1		2		1	14	12	33	30
アカゲザル	29		29	11		1	1	5	1			1	6	26	3
タイワンザル			0							1		1		2	-2
ヨザル				1										1	-1
ワタボウシタマリン			0				1	1			1	2	2	7	-7
合 計	166	8	174	42	1	3	7	9	3	2	8	32	21	128	46



## 5. 資料

霊長類研究所が所蔵する資料は、骨格標本、液浸標本、化石模型、分子生物学用試料、CT 画像などからなり、所外の研究者にも公開され、国内外の多くの研究者の研究推進に大きく貢献している。資料委員会では、これらの資試料の充実のために、毎年 400 点以上の新たな各種資試料の受け入れと作製を行っている。また、所蔵資試料の各種データベースを統合を進めて、多様な研究ニーズに応えられる利用環境の整備を行っている。

### (1) 骨格標本(表 1、2)

霊長類の骨格標本は 9,200 点を超える(表 1) 特にニホンザルの標本は所内飼育・野生由来個体を合わせて 3,500 点以上を数え、世界最大規模のコレクションである。霊長類以外にも、約 1,900 点の獣骨標本を所蔵している(表 2)。特に、日本産タヌキやテン、ツキノワグマの標本は豊富で、日本産野生哺乳類が減っている現在、これらは貴重な資料といえる。標本は、新棟 4 階および本棟地階骨格資料室と栗栖地区の骨格資料室に分散して保管されている。標本の所蔵場所や各種情報は、標本データベース PRISK(霊長類)もしくは PRISK-Z(霊長類以外)で検索することができる。

### (2) 液浸標本(表 1、3)

霊長類のホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本は約 1,100 点である(表 1)。霊長類以外の液浸標本も約 200 点ある(表 3)。筋系標本の割合が高いが、脳や臓器の標本も含む。このように大規模な液浸標本資料は世界的に見ても稀有であり、貴重なコレクションである。標本は、本棟地階及び栗栖地区の液浸資料室に分散して保管されている。標本については、骨格標本と同様に、PRISK および PRISK-Z で検索することができる。

### (3) 化石模型

化石模型は、人類および中新世ホミノイドを中心に約 500 点を所蔵している。模型は、新棟 4 階骨格資料室および展示室で保管、展示されている。化石模型の各種情報は、データベース PRICAST で検索することができる。

### (4) 分子生物学用試料(表 4)

霊長類の分子生物学用試料は、約 140 個体分 2000 点あまりを保管している。それらは、大型類人猿ネットワーク(GAIN)の情報を通じて動物園等から譲渡を受けた類人猿の臓器試料や、所内飼育の旧世界ザルや新世界ザルなどの臓器試料で、RNAlater 処理等をして冷凍保管されている。試料の保管状況や各種情報は、試料データベース PRIGEN で検索することができる。また、保管試料の一部は、九州大学有体物管理センター(<http://mmc-u.jp>)のデータベースでも公開している。

### (5) CT 画像

霊長類の CT 画像データが 84 種 1170 点あまり、霊長類以外のものが 45 種 100 点あまりある。所蔵標本の CT 画像データ化を進めるとともに、動物園等の協力を得て、所外資料の CT 画像データも収集している。それら画像データは、Web 上のデータベース Digital Morphology Museum (DMM, <http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/dmm/archive>)に登録されており、インターネットを介して利用することができる。

### (6) 利用方法とお願い

骨格・液浸標本の利用手続きは、非破壊的な使用の場合は簡便である。破壊・破損をとまなう場合も、資料委員会の審査を経た上で可能な場合もある。必要に応じて貸し出しや資料譲渡を行っている。さらに、化石模型も含めて、博物館等の展示などへの貸し出しも行っている。分子生物学用試料は、譲渡契約等の関係から、原則として共同利用・共同研究採択課題に限って所外研究者に譲渡提供している。資試料の利用希望者は、まずは、資料委員会もしくは、関係する所員に問い合わせてください。資試料には動物園など学外機関から譲渡された貴重なものも含まれるので、利用規約や契約等の遵守と提供機関に対する利用報告等への協力をお願いする。

資料委員会では資試料の一層の充実を図るため、野外調査などを行う方々に標本資試料採集への協力をお願いしています。また、諸事情から管理困難となった標本の取り扱いや、他機関所蔵の資料との交換についての相談も受けます。これらに関するご連絡は、資料委員会までお願いいたします。

(平成 27 年度連絡先：西村剛 [pri-shiryo\[at\]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:pri-shiryo[at]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp))

(文責：今井啓雄)

2014 年度(平成 26 年度)所蔵資試料

表 1 霊長類骨格および液浸標本

和名	学名	骨格	液浸
ホミノイド	<b>Hominoidea</b>	<b>122</b>	<b>102</b>
テナガザル科	Hylobatidae spp.	67	49
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	43	47
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	7	3
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	5	3
旧世界ザル	<b>Cercopithecoidea</b>	<b>7512</b>	<b>631</b>
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	5771	478
コノハザル属	<i>Presbytis</i> spp.	168	-
ハヌマンラングール属	<i>Semnopithecus</i> spp.	4	-
ラングール属	<i>Trachypithecus</i> spp.	15	27
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	366	11
メンタワイシシバナザル属	<i>Simias concolor</i>	132	-
テングザル属	<i>Nasalis larvatus</i>	-	1
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	576	68
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	20	5
マンガベイ属	<i>Cercocebus</i> spp.	16	4
ゲラダヒヒ属	<i>Theropithecus gelada</i>	4	4
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	418	29
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	20	3
コロブス亜科属不明	Colobinae indet.	-	1
旧世界ザル属不明	Cercopithecoidea indet.	2	-
新世界ザル	<b>Ceboidea</b>	<b>1579</b>	<b>243</b>
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	1027	65
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	64	22
ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	52	3
ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	60	4
クモザル属	<i>Ateles</i> spp.	14	12
ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3	-
ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	19	2
オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	96	32
サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	23	2
ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1	-
ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1	-
ピグミーマーモセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	9	10
マーモセット属	<i>Callithrix</i> spp.	88	28
タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	110	62
ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6	-
マーモセット科属不明	Callitrichidae indet.	-	1
新世界ザル属不明	Ceboidea indet.	6	-
原猿類	<b>Prosimii</b>	<b>63</b>	<b>108</b>
キツネザル属	<i>Lemur</i> spp.	19	19
エリマキキツネザル属	<i>Varecia</i> spp.	4	4
ネズミキツネザル属	<i>Microcebus</i> spp.	-	1
イタチキツネザル属	<i>Lepilemur mustelinus</i>	1	-
シファカ属	<i>Propithecus verreauxi</i>	2	-
スローロリス属	<i>Nycticebus</i> spp.	15	24

ポットー属	<i>Perodicticus</i> spp.	1	1
ホソロリス属	<i>Loris</i> spp.	2	3
ガラゴ科	Galagidae spp.	18	46
メガネザル科	Tarsidae spp.	1	1
キツネザル上科属不明	Lemuroidea indet.	-	6
曲鼻猿類属不明	Strepsirrhini indet.	-	3
種不明	Unidentifiable	-	9
総計	Total	9276	1093

表 2 霊長類以外の骨格標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
食肉目	<b>Carnivora</b>	<b>1042</b>
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(553) <i>Canis</i> , <i>Nyctereutes</i> , <i>Vulpes</i> ; イタチ科(231) <i>Martes</i> , <i>Meles</i> , <i>Mustela</i> , <i>Pteronura</i> ; アシカ科(31) <i>Callorhinus</i> , <i>Eumetopias</i> , <i>Zalophus</i> ; アザラシ科(5) <i>Phoca</i> ; 鰭脚類(2) <i>Pinnipedia</i> indet.; アライグマ科(7) <i>Procyon</i> ; クマ科(137) <i>Helarctos</i> , <i>Melursus</i> , <i>Selenarctos</i> , <i>Ursus</i> , genus indet.; ネコ科(46) <i>Felis</i> , <i>Neofelis</i> , <i>Panthera</i> ; マングース科(4) <i>Crossarchus</i> , <i>Mungos</i> , <i>Suricata</i> ; ジャコウネコ科(25) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> , <i>Viverricula</i>		
奇蹄目	<b>Perissodactyla</b>	<b>11</b>
ウマ科(9) <i>Equus</i> ; バク科(2) <i>Tapirus</i>		
鯨偶蹄目	<b>Cetartiodactyla</b>	<b>466</b>
イノシシ科(352) <i>Sus</i> ; ペッカリ一科(3) <i>Tayassus</i> ; ウシ科(53) <i>Ammotragus</i> , <i>Antelope</i> , <i>Bos</i> , <i>Buvalus</i> , <i>Capra</i> , <i>Capricornis</i> , <i>Cephalophus</i> , <i>Ovis</i> ; シカ科(45) <i>Cervus</i> , <i>Hydropotes</i> , <i>Muntiacus</i> ; マイルカ科(10) <i>Tursiops</i> , <i>Delphinidae</i> indet.; 科不明/Family indet. (3)		
ツパイ目	<b>Scandentia</b>	<b>49</b>
ツパイ科(49) <i>Tupaia</i> , <i>Lyncogale</i>		
トガリネズミ目	<b>Soricomorpha</b>	<b>49</b>
トガリネズミ科(39) <i>Crociodura</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(10) <i>Euscaptor</i> , <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
翼手目	<b>Chiroptera</b>	<b>8</b>
オオコウモリ科(4) <i>Pteropus</i> , <i>Rousettus</i> ; キクガシラコウモリ科(1) <i>Rhinolophus</i> ; ヒナコウモリ科(1) <i>Pipistrellus</i> ; 科不明 / Microchiroptera Family indet. (2)		
皮翼目	<b>Dermoptera</b>	<b>2</b>
ヒヨケザル科(2) <i>Cynocephalus</i>		
齧歯目	<b>Rodentia</b>	<b>152</b>
ヤマネ科(1) <i>Glirulus</i> ; リス科(55) <i>Callosciurus</i> , <i>Cynomys</i> , <i>Eutamias</i> , <i>Petaurista</i> , <i>Sciurus</i> , <i>Spermophilus</i> ; トビネズミ科(1) <i>Allactaga</i> ; ネズミ科(71) <i>Apodemus</i> , <i>Cricetomys</i> , <i>Diplothrix</i> , <i>Microtus</i> , <i>Mus</i> , <i>Myodes</i> , <i>Rattus</i> , genus indet.; パカ科(3) <i>Agouti</i> ; テンジクネズミ科(8) <i>Cavia</i> , <i>Dolichotis</i> ; オマキヤマアラシ科(1) <i>Coendou</i> ; カピバラ科(1) <i>Hydrochoerus</i> ; ヤマアラシ科(2) <i>Atherurus</i> , <i>Hystrix</i> ; スーリア科(6) <i>Myocastor</i> ; 科不明/Hystricognathi Family indet. (3)		
ウサギ目	<b>Lagomorpha</b>	<b>31</b>

ウサギ科(28) <i>Lepus</i> , <i>Oryctolagus</i> , genus indet.; ナキウサギ科(3) <i>Ochotona</i>		
異節目	<b>Xenarthra</b>	<b>3</b>
フタコビナマケモノ科(2) <i>Choloepus</i> ; アルマジロ科(1) genus indet.		
アフリカトガリネズミ目	<b>Afrosoricida</b>	<b>1</b>
テンレック科(1) <i>Echinops</i>		
岩狸目	<b>Hyracoidea</b>	<b>1</b>
イワダヌキ科(1) <i>Procavia</i>		
長鼻目	<b>Proboscidea</b>	<b>2</b>
ゾウ科(2) <i>Elephas</i> , <i>Loxodonta</i>		
有袋目	<b>Marsupialia</b>	<b>13</b>
オオボッサム科(3) <i>Didelphis</i> ; カンガルー科(5) <i>Macropus</i> , genus indet.; クスクス科(4) <i>Phalanger</i> , <i>Trichosurus</i> ; ウォンバット科(1) <i>Vombatus</i>		
哺乳類・計	<b>Mammalia total</b>	<b>1830</b>
鳥類	<b>Aves</b>	<b>68</b>
Anseriformes [カモ類] (5) <i>Aix</i> , <i>Anas</i> , <i>Anser</i> , <i>Tadoma</i> ; Ciconiformes [コウノトリ類] (9) <i>Nycticorax</i> , <i>Ciconia</i> , <i>Phoenicopteridae</i> indet.; Columbiformes [ハト類] (5) <i>Columba</i> ; Falconiformes [タカ類] (4) <i>Butastur</i> , <i>Milvus</i> , <i>Falco</i> ; Galliformes [キジ類] (30) <i>Bambusicola</i> , <i>Gallus</i> , <i>Lophophorus</i> , <i>Lophura</i> , <i>Pavo</i> , <i>Phasianus</i> , <i>Polyplectron</i> ; Gruiformes [ツル類] (1) <i>Gallinula</i> ; Passeriformes [スズメ類] (11) <i>Corvus</i> , <i>Carduelis</i> , <i>Coccothraustes</i> , <i>Passer</i> , <i>Turdus</i> , <i>Turdidae</i> genus indet., <i>Strunus</i> , <i>Zoothera</i> ; Phoenicopteriformes [フラミンゴ類] (2) <i>Phoenicopteridae</i> ; Psittaciformes [オウム類] (1) <i>Cacatua</i>		
爬虫類	<b>Reptilia</b>	<b>21</b>
Cheloniidae [ウミガメ類] (3) <i>Caretta</i> , <i>Chelonia</i> ; Pelomedusidae [ヨコクビガメ類] (1) <i>Podocnemis</i> ; Testudinidae [リクガメ類] (1) <i>Pyxis</i> ; Trionychidae [スッポン類] (1) <i>Lissemys</i> ; Alligatoridae [アリゲーター類] (2) <i>Alligator</i> , Genus indet.; Boidae [ボア類] (3) <i>Eunectes</i> ; Colubridae [ナミヘビ類] (2) <i>Elaphe</i> ; Gekkonidae [ヤモリ類] (1) <i>Gekko</i> ; Helodermatidae [ドクトカゲ類] (1) <i>Heloderma</i> ; Pythonidae [ニシキヘビ類] (2) <i>Morelia</i> , <i>Python</i> ; Scincidae [トカゲ類] (1) <i>Corucia</i> ; Varanidae [オオトカゲ類] (1) <i>Varanus</i> ; Viperidae [クサリヘビ類] (1) <i>Gloydius</i> ; Squamata Family indet. [有鱗目科不明] (1) Family indet.		
両生類	<b>Amphibia</b>	<b>1</b>
Bufonidae [ヒキガエル類] (1) <i>Bufo</i>		
魚類	<b>Pisces</b>	<b>2</b>
Perciformes [スズキ類] (2) <i>Lateolabrax</i> , <i>Pagrus</i>		
総計	<b>Total</b>	<b>1922</b>

表 3 霊長類以外の液浸標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
食肉目	<b>Carnivora</b>	<b>68</b>
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(4) <i>Canis</i> ,		

Urocyon; イタチ科(33) <i>Martes</i> , <i>Mustela</i> ; アシカ科(1) <i>Otariidae</i> indet.; クマ科(10) <i>Selenarctos</i> ; ネコ科(3) <i>Felis</i> ; ジャコウネコ科(4) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> ; 科不明 /Family indet.(12)		
偶蹄目	<b>Artiodactyla</b>	<b>1</b>
ウシ科(1) <i>Capricorni</i>		
ツパイ目	<b>Scandentia</b>	<b>21</b>
ツパイ科(12) <i>Tupaia</i>		
トガリネズミ目	<b>Soricomorpha</b>	<b>11</b>
トガリネズミ科(8) <i>Sorex</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(3) <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
翼手目	<b>Chiroptera</b>	<b>4</b>
オオコウモリ科(4) <i>Roussetus</i>		
齧歯目	<b>Rodentia</b>	<b>106</b>
リス科(1) <i>Sciuridae</i> indet.; ネズミ科(104) <i>Clethrionomys</i> , <i>Rattus</i> ; スートリア科(1) <i>Myocastor</i>		
ウサギ目	<b>Lagomorpha</b>	<b>1</b>
ウサギ科(1) <i>Leporidae</i> indet.		
アフリカトガリネズミ目	<b>Afrosoricida</b>	<b>1</b>
テンレック科(1) <i>Tenrecidae</i> indet.		
有袋目	<b>Marsupialia</b>	<b>4</b>
カンガルー科(1) <i>Macropodidae</i> indet.; フクロモモンガ科(1) <i>Petaurus</i> ; クスクス科(2) <i>Trichosurus</i>		
哺乳類・計	<b>Mammalia total</b>	<b>217</b>
鳥類	<b>Aves (1)</b>	Galliformes - <i>Gallus</i> [ニワトリ]
爬虫類	<b>Reptilia (1)</b>	Squamata indet. [トカゲ]
総計	<b>Total</b>	<b>219</b>

表 4 霊長類分子生物学用試料

和名	学名	個体数
ホミノイド	<b>Hominoidea</b>	<b>40</b>
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	25
ゴリラ	<i>Gorilla gorilla</i>	5
オランウータン属	<i>Pongo sp.</i>	6
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	1
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	3
旧世界ザル	<b>Cercopithecoidea</b>	<b>53</b>
マカク属	<i>Macaca spp.</i>	50
サバンナモンキー	<i>Cercopithecus aethiops</i>	2
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	1
新世界ザル	<b>Ceboidea</b>	<b>40</b>
マーモセット属	<i>Callithrix jacchus</i>	36
タマリン属	<i>Saguinus oedipus</i>	2
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	1
クモザル属	<i>Ateles geoffroyi</i>	1

## 6. 人事異動

所属分野等	職名	異動		内容	備考
		氏名	年月日		
ゲノム進化分野	所長	平井 啓久	2014/4/1	併任	任期は 2016/3/31 まで
統合脳システム分野	副所長	高田 昌彦	2014/4/1	併任	任期は 2015/3/31 まで
国際共同先端 研究センター	教授	BERCOVITCH, Fred Bruce	2014/4/1	採用	京都大学霊長類研究所・教授(大学改 革)より
ヒト科 3 種比較 研究プロジェクト	特定助教	狩野 文浩	2014/4/1	採用	日本学術振興会・海外特別研究員 (Max-Planck Institute for Evolutionary Anthropology)より
高次脳機能分野	特定准教授	泉 明宏	2014/6/30	退職	武蔵野大学人間科学部・准教授へ
人類進化モデル 研究センター	助教	木下 こづえ	2014/9/1	採用	京都大学野生動物研究センター・学振 特別研究員(PD)より
人類進化モデル 研究センター	特定助教	芳田 剛	2015/3/31	退職	東京医科歯科大学大学院医歯学総合 研究科・助教へ

## 7. 海外渡航

### (1) 教職員

所属	氏名	期間	目的国	目的
系統発生	西村剛	2013/10/1～2014/9/30	オーストリア・ス イス・カナダ・ベ トナム	実験的研究・国際学会参加・発表・資料収 集
長期野外	松田一希	2014/2/3～5/2	シンガポール・マ レーシア	行動観察・消化実験・研究連絡
社会進化	古市剛史	2014/4/4～4/11	コンゴ民主共和 国	研究連絡、ワークショップ参加・発表・資 料収集
進化形態	平崎鋭矢	2014/4/9～4/14	カナダ	第 83 回アメリカ人類学会年次大会参加・発 表・討議
国際センター	足立幾磨	2014/4/14～6/13	アメリカ	比較認知科学的研究分析の実施
認知学習	香田啓貴	2014/4/14～4/24	フランス・オース トリア	国際学会(Evolang10)参加・発表・研究連絡
ヒト科 3 種	狩野文浩	2014/4/14～9/21	ドイツ	ヒト科大型類人猿を対象とした実験研究
思考言語	林美里	2014/4/21～4/25	マレーシア	行動調査・研究打ち合わせ
センター	森本真弓	2014/4/24～4/30	タイ	スローロリスの遺伝試料の収集と共同研究 打ち合わせ
遺伝子情報	平井啓久	2014/4/24～4/30	タイ	スローロリスの遺伝試料の収集と共同研究 打ち合わせ
思考言語	松沢哲郎	2014/4/26～5/5	中国	研究連絡・情報交換
高次脳機能	中村克樹	2014/4/30～5/6	アメリカ	29th International Conference of Alzheimer's Disease International 参加・情報収集
社会進化	MA Huffman	2014/5/15～5/22	台湾	研究連絡・セミナー参加
進化形態	濱田穰	2014/5/19～6/3	タイ	研究連絡・生息実態調査
認知学習	正高信男	2014/5/25～5/29	フランス	研究連絡・情報収集
生態保全	半谷吾郎	2014/5/27～6/7	中国	栄養分析実験の指導、研究連絡、野外調査
社会進化	古市剛史	2014/5/30～6/7	ウガンダ	野外調査・研究連絡
社会進化	MA Huffman	2014/6/12～7/5	スリランカ・中国	サンプル採集・研究連絡、ワークショップ 参加・発表
ゲノム多様性	川本芳	2014/6/18～7/1	ネパール・ブータ ン	現地調査・遺伝子分析実験・研究連絡
長期野外	松田一希	2014/6/26～7/17	ウガンダ	野外調査
社会進化	古市剛史	2014/6/28～8/3	コンゴ民主共和	野生ボノボの調査・研究連絡

			国	
思考言語	松沢哲郎	2014/6/30～7/11	ポルトガル・ドイツ・イタリア	国際学会参加・発表・研究連絡・資料収集
高次脳機能	脇田真清	2014/7/4～7/11	イタリア	第9回欧州神経科学会議フォーラム(FENS2014)参加・発表・情報収集
国際センター	FB Bercovitch	2014/7/4～7/13	英国	The Giraffe:New perspectives on well-known species 参加・発表、研究連絡
生態保全	橋本千絵	2014/7/12～8/18	ウガンダ・ベトナム	生態調査・研究連絡、第25回国際霊長類学会参加・発表・資料収集
遺伝子情報	今井啓雄	2014/7/16～7/27	ブラジル	野外調査・研究連絡
進化形態	濱田穰	2014/7/17～8/5	タイ	野外調査・研究連絡
ゲノム多様性	川本芳	2014/7/23～7/27	タイ	共同実験
社会進化	辻大和	2014/8/9～9/3	ベトナム・インドネシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集,野外調査
ゲノム多様性	川本芳	2014/8/9～8/24	ベトナム・インドネシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集,研究連絡
生態保全	半谷吾郎	2014/8/10～8/16	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
思考言語	松沢哲郎	2014/8/10～8/18	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、研究連絡
高次脳機能	脇田真清	2014/8/10～8/17	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
社会進化	古市剛史	2014/8/10～8/18	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
社会進化	MA Huffman	2014/8/10～8/22	ベトナム・インドネシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集
進化形態	濱田穰	2014/8/11～8/24	ベトナム・インドネシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集,研究連絡
認知学習	正高信男	2014/8/11～8/17	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
ゲノム多様性	古賀章彦	2014/8/11～8/14	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
系統発生	高井正成	2014/8/11～8/18	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
遺伝子情報	今井啓雄	2014/8/11～8/24	ベトナム・インドネシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集
遺伝子情報	平井啓久	2014/8/11～8/14	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
ゲノム多様性	田中洋之	2014/8/11～8/25	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集及び野外調査
思考言語	林美里	2014/8/11～8/17	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
思考言語	友永雅己	2014/8/11～8/16	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
長期野外	松田一希	2014/8/11～9/26	ベトナム・インドネシア・マレーシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集、栄養分析実験
認知学習	香田啓貴	2014/8/11～8/23	ベトナム・インドネシア・マレーシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集
生態保全	湯本貴和	2014/8/14～8/22	マレーシア・インドネシア	研究連絡、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集

高次脳機能	中村克樹	2014/8/14～8/18	ベトナム	第 25 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
進化形態	平崎鋭矢	2014/8/17～8/22	インドネシア	第 4 回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集、討議
ゲノム多様性	古賀章彦	2014/8/17～8/21	インドネシア	第 4 回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集
遺伝子情報	平井啓久	2014/8/17～8/23	インドネシア	第 4 回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集
国際センター	宿輪マミ	2014/8/17～8/24	インドネシア	第 4 回アジア霊長類国際会議事務補助、国際コース広報活動
遺伝子情報	今村公紀	2014/8/20～8/23	韓国	韓国実験動物学会 2014 年国際シンポジウム参加・発表・情報収集
生態保全	湯本貴和	2014/8/23～9/3	ブラジル	資料収集・生態調査
国際センター	FB Bercovitch	2014/8/31～10/1	ザンビア	共同研究・資料収集
遺伝子情報	平井啓久	2014/9/1～9/7	英国・オーストラリア	第 20 回国際染色体学会参加・発表・資料収集、研究機関訪問
センター	山中淳史	2014/9/12～9/21	タンザニア	野外調査・資料収集
思考言語	松沢哲郎	2014/9/12～9/22	アメリカ・ポルトガル・英国	研究連絡、37th Meeting of the American Society of Primatologists、International Conference 参加・発表・資料収集
センター	岡本宗裕	2014/9/15～9/24	インドネシア	研究打ち合わせ・疫学調査
思考言語	林美里	2014/9/16～9/21	英国	行動観察・情報収集
国際センター	足立幾磨	2014/9/18～12/16	アメリカ	研究分析
センター	橋本直子	2014/10/9～10/13	ドイツ	施設見学・情報収集・情報交換
高次脳機能	中村克樹	2014/10/9～10/13	ドイツ	施設見学・情報収集・研究連絡
社会進化	MA Huffman	2014/10/10～10/22	英国	共同研究打ち合わせ・情報収集
思考言語	松沢哲郎	2014/10/13～10/18	イタリア	IEEE ICDL-EPIROB 2014 参加・発表・資料収集
長期野外	松田一希	2014/10/13～2015/2/14	スイス・ドイツ	計測実験・分析
系統発生	高井正成	2014/10/20～10/24	中国	北京原人発見 85 周年シンポジウム参加・発表・資料収集
センター	木下こづえ	2014/10/20～10/31	ブータン	研究連絡・野外調査
認知学習	後藤幸織	2014/10/22～10/26	韓国	2014 International Convention of Pharmaceutical Society of Korea 参加・発表・情報収集
ゲノム多様性	古賀章彦	2014/10/23～10/24	韓国	韓国分子生物学会国際会議参加・講演
思考言語	林美里	2014/10/26～11/2	マレーシア	情報収集・研究連絡
社会進化	MA Huffman	2014/10/27～11/1	台湾	国際シンポジウム参加・講演、生態学的調査
系統発生	江木直子	2014/11/4～11/10	ドイツ	第 74 回国際古脊椎動物学会大会参加・発表・資料収集
社会進化	MA Huffman	2014/11/6～11/9	韓国	「食と生薬による健康：日本 - 韓国共同研究」第 3 回研究会参加・発表・情報交換・総合討論
認知学習	後藤幸織	2014/11/6～11/9	韓国	「食と生薬による健康：日本 - 韓国共同研究」第 3 回研究会参加・発表・情報交換・総合討論
高次脳機能	中村克樹	2014/11/12～11/21	アメリカ	第 44 回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集、研究連絡
統合脳システム	大石高生	2014/11/14～11/21	アメリカ	第 44 回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
統合脳システム	高田昌彦	2014/11/14～11/21	アメリカ	第 44 回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集、研究連絡
統合脳システム	井上謙一	2014/11/15～11/21	アメリカ	第 44 回北米神経科学学会大会参加・発表・資

ム				料収集
思考言語	林美里	2014/11/23～11/29	マレーシア	International Primate/Orangutan Dialogue 参加・情報収集、研究連絡
思考言語	松沢哲郎	2014/11/23～11/26	マレーシア	International Primate/Orangutan Dialogue 参加・情報収集
センター	岡本宗裕	2014/12/1～12/4	タイ	JITMM2014 参加・発表・情報収集
社会進化	辻大和	2014/12/12～12/27	インドネシア	現地調査・情報収集
社会進化	古市剛史	2014/12/12～12/27	ウガンダ	類人猿の研究と保護に関する国際シンポジウム参加・情報収集・研究連絡、野外調査
生態保全	橋本千絵	2014/12/12～2015/1/4	ウガンダ	類人猿の研究と保護に関する国際シンポジウム参加・情報収集・研究連絡、野外調査
思考言語	松沢哲郎	2014/12/13～12/25	ウガンダ	類人猿の研究と保護に関する国際シンポジウム参加・情報収集・研究連絡、野外調査
高次脳機能	中村克樹	2014/12/17～12/23	ドイツ	研究連絡、施設見学
センター	岡本宗裕	2015/1/5～1/9	インドネシア	研究指導・疫学調査・実験
思考言語	松沢哲郎	2015/1/5～1/13	カンボジア	情報収集・野外調査
社会進化	MA Huffman	2015/1/20～2/10	スリランカ	試料収集・研究連絡
ゲノム多様性	古賀章彦	2015/1/28～2/4	タイ・カンボジア	現地調査・試料収集・研究連絡
ゲノム多様性	川本芳	2015/1/29～2/10	スリランカ	野外調査・分析実験
進化形態	濱田穰	2015/1/29～2/9	タイ	調査準備・研究連絡
国際センター	FB Bercovitch	2015/2/2～2/11	南アフリカ共和国	国際シンポジウム参加・資料収集・研究連絡
認知学習	正高信男	2015/2/9～2/14	中国・オーストラリア	研究連絡・情報収集
思考言語	友永雅己	2015/2/9～2/11	韓国	国際共同研究打ち合わせ
系統発生	高井正成	2015/2/10～3/5	ミャンマー	化石発掘調査、化石標本の整理・観察
高次脳機能	中村克樹	2015/2/16～2/22	オランダ・ドイツ・英国	研究動向調査・研究連絡
系統発生	江木直子	2015/2/20～3/6	ミャンマー	化石発掘調査、化石標本の整理・観察
認知学習	香田啓貴	2015/2/22～3/8	タイ	試料収集・研究連絡
進化形態	濱田穰	2015/2/26～3/3	タイ	京都 ASEAN フォーラム予備会議 2015 参加
生態保全	湯本貴和	2015/3/9～3/24	ブラジル	資料収集、国際ワークショップ参加・発表、生態調査
社会進化	辻大和	2015/3/9～3/24	インドネシア	生態調査・セミナー参加・研究連絡・資料収集
生態保全	橋本千絵	2015/3/13～4/5	ウガンダ	生態調査・研究連絡
長期野外	松田一希	2015/3/16～3/23	マレーシア	研究連絡
統合脳システム	高田昌彦	2015/3/16～3/23	ドイツ	11th Gottingen Meeting of the German Neuroscience Society 参加・発表・資料収集、研究連絡
思考言語	松沢哲郎	2015/3/16～3/23	アメリカ	2015 SRCD Biennial Meeting 参加・発表・資料収集、研究連絡
ゲノム多様性	川本芳	2015/3/19～3/31	インドネシア	野外調査・分析実験
センター	木下こづえ	2015/3/20～3/24	タイ	研究連絡・観察調査
認知学習	正高信男	2015/3/23～3/26	シンガポール	研究連絡
系統発生	西村剛	2015/3/24～3/30	アメリカ	第 84 回アメリカ自然人類学会年次大会参加・発表・資料収集
進化形態	平崎鋭矢	2015/3/25～3/30	アメリカ	第 84 回アメリカ自然人類学会年次大会参加・発表・討議
進化形態	濱田穰	2015/3/25～3/29	マレーシア	研究連絡

## (2) 大学院生

所属	氏名	期間	目的国	目的
思考言語	R Mendonca	2014/2/15～2014/12/18	マレーシア	研究連絡、野生オランウータンの行動調査
社会進化	戸田和弥	2014/4/4～4/20	コンゴ民主共和国	研究連絡・情報収集・ワークショップ参加・野外実習
生態保全	大谷洋介	2014/4/26～5/15	マレーシア	ブタオザル生態調査及び研究打ち合わせ
認知学習	磯村朋子	2014/5/13～5/21	アメリカ	IMFAR2014 参加・発表・情報収集
思考言語	Y Kim	2014/6/13～6/21	韓国	行動実験・研究連絡
社会進化	徳山奈帆子	2014/6/24～9/16	コンゴ民主共和国	野生ボノボの調査・研究連絡
思考言語	Y Kim	2014/6/25～7/17	韓国	行動実験・研究連絡
社会進化	RSC Takeshita	2014/6/30～7/29	アメリカ	フィールドワーク実習・野外調査
生態保全	有賀菜津美	2014/7/12～9/13	ウガンダ	フィールドワーク実習・野外調査
社会進化	柳興鎮	2014/7/24～9/16	コンゴ民主共和国	野生ボノボの調査・研究連絡
社会進化	RSC Takeshita	2014/8/2～8/22	マレーシア・ベトナム・インドネシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・情報収集、野外調査
認知学習	S Bernstein	2014/8/2～2015/1/28	中国	フィールドワーク実習・野外調査
思考言語	ユリラ	2014/8/6～8/10	韓国	ICMPC13 参加・発表・情報収集および資料収集
思考言語	Y Kim	2014/8/8～8/19	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
思考言語	村松明穂	2014/8/10～8/18	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
進化形態	MV Nguyen	2014/8/11～8/27	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
進化形態	P Porrawee	2014/8/11～8/19	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
思考言語	櫻庭陽子	2014/8/11～8/19	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、飼育動物の観察
思考言語	黒澤圭貴	2014/8/11～8/17	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
思考言語	ユリラ	2014/8/11～8/17	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
生態保全	栗原洋介	2014/8/11～8/17	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
思考言語	Y Kim	2014/9/11～9/22	韓国	行動実験・研究連絡
社会進化	RSC Takeshita	2014/9/20～10/1	タンザニア	ワークショップ参加・フィールドワーク実習・野外調査
進化形態	若森参	2014/9/20～9/30	タンザニア	ワークショップ参加・フィールドワーク実習・野外調査
生態保全	有賀菜津美	2014/11/7～2015/2/28	ウガンダ	フィールドワーク実習・野外調査
社会進化	戸田和弥	2014/11/15～2015/2/27	コンゴ民主共和国	野生ボノボの調査・研究連絡・フィールドワーク実習
社会進化	柳興鎮	2014/11/15～2015/4/22	コンゴ民主共和国	野生ボノボの調査・研究連絡
生態保全	寺田佐恵子	2014/12/13～12/28	ウガンダ	類人猿の研究と保護に関する国際シンポジウム参加・情報収集・研究連絡、野外調査
進化形態	若森参	2015/2/2～3/5	タイ	研究連絡・野外調査
社会進化	豊田有	2015/2/15～3/9	タイ	研究連絡・予備観察
生態保全	寺田佐恵子	2015/3/23～3/29	英国	保全科学学生大会参加・資料収集、研究連絡



### (3) 教務補佐員・技術補佐員・研究支援推進員

所属	氏名	期間	目的国	目 的
白眉	澤田玲子	2014/4/4～4/11	アメリカ	Cognitive Neuroscience 21st Annual Meeting 参加・発表・資料収集
生態保全	松尾ほだか	2014/4/13～10/20	ウガンダ	野外調査・研究連絡
認知学習	伊藤亮	2014/5/23～5/31	中国	研究調査打ち合わせ
認知学習	伊藤亮	2014/7/29～8/8	アメリカ	JMIH2014 参加・発表・情報収集、研究連絡
生態保全	大谷洋介	2014/8/7～8/17	ベトナム	第 25 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
思考言語	市野悦子	2014/10/26～11/2	マレーシア	野生オランウータンの観察
生態保全	大谷洋介	2014/10/29～2015/1/15	マレーシア	ブタオザル生態調査・資料収集・研究連絡
認知学習	新谷さとみ	2014/11/6～11/9	韓国	「食と生薬による健康：日本－韓国共同研究」第 3 回研究会運営補助業務
生態保全	松尾ほだか	2014/11/22～2015/9/18	ウガンダ	野外調査・研究連絡
認知学習	伊藤亮	2015/1/6～1/31	マダガスカル	野外調査・資料収集・研究連絡
生態保全	大谷洋介	2015/1/31～3/1	マレーシア	ブタオザル生態調査・資料収集・研究連絡
系統発生	浅原正和	2015/3/15～3/22	アメリカ	標本観察

### (4) 研究員

所属	氏名	期間	目的国	目 的
長期野外	坂巻哲也	2013/12/20～2014/7/17	コンゴ民主共和国	野生ボノボの調査、研究連絡
国際センター	西澤和子	2013/12/8～2014/7/8	ブータン	健康・医療・文化に関する調査研究
長期野外	田代靖子	2014/2/12～4/16	ウガンダ	野生霊長類の生態学的調査、研究連絡
国際センター	M Seres	2014/4/11～4/20	アメリカ	ボノボ運搬作業・飼育管理に関する情報収集
統合脳システム	K McCairn	2014/5/20～5/24	韓国	研究連絡
思考言語	金森朝子	2014/5/12～5/31	マレーシア	生態調査、研究連絡
長期野外	田代靖子	2014/6/2～7/31	ウガンダ	野生霊長類の生態学的調査、研究連絡
系統発生	伊藤毅	2014/6/9～6/12	韓国	化石標本観察・計測・研究連絡
生態保全	今井伸夫	2014/7/20～8/8	マレーシア	資料収集調査・植物調査
国際センター	西澤和子	2014/8/6～2015/2/22	ブータン	健康・医療・文化に関する調査研究
長期野外	田代靖子	2014/8/10～8/18	ベトナム	第 25 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
思考言語	打越万喜子	2014/8/10～8/19	ベトナム	第 25 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
思考言語	金森朝子	2014/8/10～8/17	ベトナム	第 25 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
遺伝子情報	筒井圭	2014/8/11～8/18	ベトナム	第 25 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、研究連絡
社会進化	竹元博幸	2014/8/11～8/18	ベトナム	第 25 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
長期野外	坂巻哲也	2014/8/11～8/18	ベトナム	第 25 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
長期野外	田代靖子	2014/9/11～12/21	ウガンダ	野生霊長類の生態学的調査、研究連絡
国際センター	M Seres	2014/9/15～9/23	アメリカ	施設見学・情報収集・情報交換
センター	宮本陽子	2014/10/9～10/13	ドイツ	施設見学・情報収集・情報交換
高次脳機能	三輪美樹	2014/10/9～10/13	ドイツ	施設見学・情報収集・情報交換

生態保全	今井伸夫	2014/10/14～11/3	タイ・ラオス・ベトナム	研究連絡・資料収集
チンパンジー林原	藤澤道子	2014/10/20～11/16	ブータン	研究連絡・野外調査
長期野外	坂巻哲也	2014/11/2～2015/4/22	コンゴ民主共和国	野生ボノボの調査、研究連絡
思考言語	金森朝子	2014/11/3～11/22	マレーシア	生態調査、研究連絡
統合脳システム	中川浩	2014/11/14～11/21	アメリカ	第44回北米神経科学学会大会参加・発表・資料収集
思考言語	綿貫宏史朗	2015/1/18～1/29	ブラジル	野外調査・資料収集
生態保全	今井伸夫	2015/2/2～3/10	マレーシア	資料収集調査・植物調査
国際センター	M Seres	2015/2/9～2/11	韓国	施設見学・情報収集
思考言語	金森朝子	2015/2/23～3/2	マレーシア	研究連絡・野外調査
統合脳システム	中川浩	2015/3/16～3/23	ドイツ	11th Gottingen Meeting of the German Neuroscience Society 参加・発表・資料収集、研究連絡

## (5) 学振特別研究員(PD)・外国人特別研究員

所属	氏名	期間	目的国	目的
思考言語	川上文人	2014/7/2～7/7	ドイツ	国際乳児学会参加・発表・資料収集
思考言語	C Watson	2014/8/9～8/19	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外調査
思考言語	L Morino	2014/8/11～8/28	ベトナム・インドネシア	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、第4回アジア霊長類国際会議参加・発表・情報収集
思考言語	川上文人	2014/8/11～8/17	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
生態保全	佐藤宏樹	2014/8/12～8/18	ベトナム	第25回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、研究連絡
高次脳機能	鴻池菜保	2014/11/12～11/20	アメリカ	第44回北米神経科学学会大会参加・発表・情報収集、研究連絡
生態保全	佐藤宏樹	2014/11/25～2015/3/8	マダガスカル	研究連絡・資料収集・野外調査
思考言語	川上文人	2015/3/16～3/23	アメリカ	2015 SRCD Biennial Meeting 参加・発表・資料収集

## (6) 研究生

所属	氏名	期間	目的国	目的
国際センター	L Frias	2014/6/11～6/23	チェコ	資料収集・寄生虫学トレーニングコース参加
国際センター	L Frias	2014/9/3～9/13	マレーシア	試料収集・研究連絡

## 8. 非常勤講師

(霊)渡邊 茂 (慶応義塾大学・名誉教授)

「非霊長類の論理と感性」2014年12月19日～12月20日

(理)押田 龍夫(帯広畜産大学畜産学部・教授)

「樹上性小型哺乳動物の生物学を考える～リス科動物を中心として～」2014年11月25日～11月26日

(理)河村 正二(東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授)

「適応進化遺伝学」2014年12月9日～12月11日

(理)天野 雅男(長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科・教授)

「ハクジラ類の社会と行動」2015年2月12日～2月13日

(理)：理学研究科 卒 (霊)：霊長類研究所 卒

## 9. リサーチ・アシスタント(R・A)

(氏名：採用期間)

金 侑璃 : 2014.6.1～2015.3.31

栗原 洋介 : 2014.6.1～2014.9.30

: 2015.1.1～2015.1.31

: 2015.3.1～2015.3.31

酒多 穂波 : 2014.6.1～2015.3.31

若森 参 : 2014.6.1～2015.3.31

堀田 英莉 : 2014.6.1～2015.3.31

大野 邦久 : 2014.7.1～2014.9.30

: 2014.10.1～2014.10.31

: 2015.3.1～2015.3.31

## 10. ティーチング・アシスタント(T・A)

(氏名：採用期間)

TA(一般)

渥美 剛史 : 2014.7.1～2014.11.30

菅原 直也 : 2014.7.1～2014.8.31

: 2014.10.16～2014.10.31

: 2014.12.1～2015.2.28

豊田 有 : 2014.7.1～2014.12.31

西 栄美子 : 2014.7.1～2014.8.31

: 2014.10.1～2014.12.31

安河内 竜二 : 2014.10.16～2014.10.31

北島 龍之介 : 2014.12.1～2014.12.31

山口 佳恵 : 2015.2.1～2015.2.28

佐藤 まどか : 2014.11.1～2014.11.30

藤村 留美 : 2014.12.1～2014.12.31

TA(全学共通科目)

金 侑璃 : 2014.7.1～2014.7.31

酒多 穂波 : 2014.7.1～2014.7.31

北島 龍之介 : 2014.9.1～2014.9.30

菅原 直也 : 2014.9.1～2014.9.30

安河内 竜二 : 2014.9.1～2014.9.30

西 栄美子 : 2014.9.1～2014.9.30

TA(霊長研)

若森 参 : 2014.6.1～2014.7.31

: 2014.11.1～2015.1.31

: 2015.3.1～2015.3.31

BERNSTEIN Sofia : 2014.6.1～2014.7.31

安河内 竜二 : 2014.6.1～2014.7.31

北島 龍之介 : 2014.5.1～5.31

西 栄美子 : 2014.4.1～5.31

ALEJANDRO Josue : 2015.2.1～2015.3.31

## 11. 年間スケジュール

### 2014 年

4 月 1 日	新入生オリエンテーション
4 月 21 日	新入所員歓迎会
5 月 17-18 日	共同利用研究会「法改定に伴う今後のニホンザルの保全と管理の在り方」
6 月 14-15 日	共同利用研究会「第 14 回ニホンザル研究セミナー」
6 月 18 日	本学創立記念日
7 月 26-27 日	犬山公開講座「サルを考える」
8 月 6-7 日	大学院修士課程入学試験
8 月 26-27 日	共同利用研究会「霊長類への展開に向けた幹細胞・生殖細胞・エピゲノム研究」
9 月 24-26 日	全学共通科目「霊長類学の現在」
10 月 4 日	霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 東京フォーラム『フィールドと動物園をつなぐ：野生動物と人間の共存に向けて』（日本科学未来館）
10 月 8 日	サル慰霊祭
10 月 11 日	共同利用研究会「第 2 回 ヒトを含めた霊長類比較解剖学：背部の基本構成と特殊化を探る」
10 月 24 日	運営委員会
10 月 26 日	市民公開

### 2015 年

1 月 23 日	博士論文発表会
1 月 26 日	修士論文発表会
2 月 18-19 日	オープンキャンパス
2 月 19 日	大学院博士課程編入試験
2 月 28-3 月 1 日	共同利用研究会「第 10 回犬山国際比較社会認知シンポジウム」
3 月 5-6 日	第 43 回ホミニゼーション研究会「霊長類学・ワイルドライフ・サイエンス」
3 月 7-8 日	共同利用研究会「豪雪地域におけるニホンザルの洞窟利用」
3 月 13-14 日	共同利用研究会「霊長類脳科学の新しい展開とゲノム科学との融合」
3 月 16 日	運営委員会